

みずほCustomer Desk Report 2019/03/18号(As of 2019/03/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.94
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.75	1.1307	126.37	1.3257	0.7069
SYD-NY High	111.90	1.1345	126.54	1.3300	0.7097
SYD-NY Low	111.38	1.1300	126.15	1.3204	0.7062
NY 5:00 PM	111.50	1.1327	126.25	1.3297	0.7087
NY DOW	25,848.87	138.93	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,688.53	57.62	日本10年債	-0.0400	1.00bp
S&P	2,822.48	14.00	米国2年債	2.4409	▲2.08bp
日経平均	21,450.85	163.83	米国5年債	2.3959	▲3.36bp
TOPIX	1,602.63	14.34	米国10年債	2.5898	▲3.96bp
シカゴ日経先物	21355	155	独10年債	0.0820	▲0.20bp
ロンドンFT	7,228.28	42.85	英10年債	1.2105	▲1.20bp
DAX	11,685.69	98.22	豪10年債	1.9760	0.60bp
ハンセン指数	29,012.26	160.87	USDJPY 1M Vol	5.10	▲0.08%
上海総合	3,021.75	31.07	USDJPY 3M Vol	5.70	▲0.10%
NY金	1,302.90	7.80	USDJPY 6M Vol	6.29	▲0.11%
WTI	58.52	▲0.09	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	183.87	0.48	EURJPY 3M Vol	6.54	▲0.22%
ドルインデックス	96.60	▲0.19	EURJPY 6M Vol	7.28	▲0.09%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月15日	-	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
15:30	日	黒田日銀総裁 記者会見 「2%物価目標達成目指す姿勢に変わりない」		
19:00	欧	CPIコア(前年比)・確報	2月 1.0%	1.0%
19:00	欧	CPI(前年比)・確報	2月 1.5%	1.5%
21:30	米	ニューヨーク連銀製造業景況指数	3月 3.7	10.0
22:15	米	鉱工業生産(前月比)	2月 0.1%	0.4%
23:00	米	ミシガン大学消費者マインド	3月 97.8	95.6

【本日の予定】

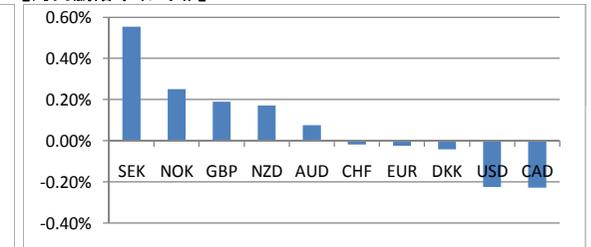
Date	Time	Event	予想	前回
3月18日	08:50	貿易収支	2月 ¥305.1b	¥-1,415.6b
	08:50	輸出/輸入(前年比)	2月 -0.6%/-6.4%	-8.4%/-0.8%
	13:30	鉱工業生産(前月比)・確報	1月 -	-3.7%

東京	東京時間のドル円は111.75レベルでスタート。14日に英国でEU離脱期限延長を申請する採決が行われたことや、日銀政策決定会合への期待感から、日経平均株価とともにドル円は底堅く推移し、111.90まで上昇。日銀の政策維持が決定されたことでドル円は上げ幅を縮小すると、北朝鮮が各協議停止検討とのヘッドラインを受けて一時111.49まで下落。その後は買い戻しが入り、111.66レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は動意薄となった。111.66レベルでオープン。本日の日銀金融政策決定会合で黒田日銀総裁が輸出と生産に関する景況判断を下方修正するも市場への影響は限定的。111.62-111.76の小幅な動きとなり111.69レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルも1.13台前半で様子見となった。1.1318レベルでオープン。ユーロ圏2月消費者物価指数(改定値)は前年比+1.5%と前月1.4%から若干上昇したが市場は反応薄。1.1319レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは上昇した。英下院が13日に英国の合意無き離脱案を否決、14日に英国の欧州離脱期日延期を議決したことでブレグジットを巡る不透明感が若干ではあるが後退したためポンドは堅調推移し1.3277の高値を付けた。その後は週末を控えた調整の売り等が散見されたことで上値は抑えられ、1.3263レベルにてニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	中国が4/1から製造業のVAT税を減税する事などを発表したことでドル円は111.90まで上昇するが、北朝鮮が米国との非核化の協議停止を検討との報道を受けて111.49まで反落し、111.69レベルでNYオープン。NY朝方は3月NY連銀製造業景況指数が予想を下回り、続いて発表の2月鉱工業生産も前回が上方修正される一方、今回が予想を下回ったことから、ドル売りが優勢となり111.45まで下落。その後は3月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を上回ったものの、1年後の期待インフレ率が前回の2.6%から2.4%に低下したこと等から安値111.38まで続落。NY午後は週末を控え111.50付近での推移が続き、111.50レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となり1.1329まで戻すが、狭いレンジでの推移が続き、1.1319レベルでNYオープン。NY朝方は一旦ドルが買い戻される動きにユーロドルは1.1300まで反落するが、弱いNY連銀製造業景況指数、鉱工業生産結果を受け再びドル売りが優勢となったことから、1.1345まで買い戻される。NY午後は週末を控え1.1320付近での閑散な推移が続き、1.1327レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-111.80	1.1280-1.1380	125.50-127.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日海外時間のドル/円相場は下落する展開となった。米3月NY連銀製造業景況指数や米2月鉱工業生産が市場予想を下回る結果となると111円台半ばまで下落。更に、続いて発表された米3月ミシガン大学消費者信頼感指数が弱い結果となると一時111.38まで値を下げたが、その後は水準を戻し111円台半ばでクローズした。本日のドル/円相場は上値の重い推移を予想する。19~20日にかけてFOMCを控えていることから、基本的には様子見姿勢で幅幅は出づらいつと考えられるが、金曜日の弱い経済指標の結果が意識される中、ドル売り圧力が高まりやすく、方向感としては上値の重い推移を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・田家